

関係者 様

佐々並地区移住促進連絡会の設立のお知らせ

ささらぶ応援隊

全国的に少子高齢化の波が地域に押し寄せてきています。特に中山間地の佐々並地区では、ついに佐々並地区の最後の学校である佐々並小学校の休校が現実になってきています。現在、佐々並小学校の児童数は13名、過去一番少ない児童数です。

令和2年4月、佐々並小学校では最後となる入学式が行われました。当時、佐々並地区の未就学児は0人で、あさひ保育園佐々並分園が休園し、翌年以降の入学予定がなかったからです。

そして在校生が全て卒業する令和8年度「休校」へのカウントダウンが始まりました。

休校の時が明確になったことで危機感を募らせた保護者と学校は2度懇談を行いました。「休校」か「学校存続」か。様々な意見はありましたが「地域の学校はずっと続いて欲しい。子どもたちに母校を残してあげたい。」と学校存続への思いを共有することができた。

そして令和2年12月に「今できることを、今やろう」と、保護者・地域・学校・行政が連携する「四輪駆動」で子育て家族の定住促進活動を実践する「ささらぶ応援隊」が発足しました。

早急でしたが、2ヶ月後の令和3年2月に新1年生の確保を目標に「第1回佐々並小学校と住まいの見学会」を開催しました。学校と少人数学級、先進のオンライン授業の魅力を伝える公開授業、児童による佐々並紹介、地域の人と触れ合う地区の散策、移住に必要な住まいを紹介する空き家の見学を実施しました。保護者はポスターをコンビニに設置するなどPRにも奔走し、地域情報誌やテレビ番組（「熱血テレビ」ぶるぼんさん）でも紹介された効果もあって7家族の参加がありました。見学会当日は「どうしんてやろう会」の皆さんによる伝統的建造物群保存地区の案内や地域の方が応援の言葉と共に届けてくださった野菜やお米200kgの提供もありました。

危機感を持ちながら地域ぐるみで見学会に取り組んだところ、参加7家族のうち3家族から移住希望がありました。そのなかの1家族4人の住まいがすぐに決まり、令和3年4月、今後ないと心配されていた佐々並小学校の入学式を実施することができました。学校や保護者だけでなく、地域全体の喜びとなりました。

その後も2回、3回と学校と住まいの見学会を実施、農業体験活動などのイベントの開催や移住希望者との関係づくりに取り組み、約1年間の活動で計4家族14人（うち子ども7人）が佐々並地区へ移住が決まりました。おかげで入学式も令和7年まで毎年開催できる見込みとなり、地域の関心や支援も広がってきています。

けれども今、大きな課題に直面しています。

これまでささらぶ応援隊で移住促進活動を行い、移住家族が4家族決まりましたが、実

は、まだ移住の問い合わせが数件あります。けれども子育てをしている移住家族が希望する内容の売買や賃貸の空き家がないことで移住の話が止まっています。

子育て家族の移住の主な希望内容は、

- ①学校まで歩いて通学できること（学校まで1、5km以内 徒歩20分以内）
- ②4～5人家族が生活できる広さの家（3LD以上）
- ③すぐに住むことができる状態の家（少しの改修は可）
- ④できれば賃貸
（市の補助が2年間・・・家賃半額※上限2万円、子ども加算一人5千円）
または安い販売価格（100万円以内）

これまでに、ささラブ応援隊では移住者の住まいを確保するため、萩市空き家情報バンクへ物件登録を促す活動をしています。これまで約50件あまりの空き家を見つけ、家主や関係者と交渉してきましたが、諸事情でなかなか空き家バンク登録まで進まないのが現状です。家財や仏壇がある、家主が遠方に住んでいる、家主と連絡が取れない、親族の同意が得られないなどの諸事情がたくさんありました。

けれども、これまでの活動の結果、ささラブ応援隊を通して3件の空き家バンクへの登録が進み、そのうち1軒の移住が決まり、1軒が交渉中です。残念ながら子育て家族ではありませんが、佐々並地区の人口増となっています。

今の現状では、ささラブ応援隊だけの取組では、住まいの確保がうまく進まないことがわかりました。そこでこれらの解決のために、地域全体に呼びかけ、各地区の代表の方や地域のことをよく知る方々に支援をお願いすることになりました。

そこで、このたび、「佐々並地区定住促進協議会」を設立し、かかわる関係者を地域全体に広げて、佐々並地区全体で空き家の活用を考え、空き家物件を確保していくことになりました。

そして、先日4月16日に「佐々並地区定住促進協議会」を設立するための準備会を行い、厳しい現状を共有し、これからの活動の概要や協議会メンバーの選出を行いました。そして選出された協議会メンバーの方々に集まっただき、佐々並地区の空き家物件の確保についての協議と活動を進めていきたいと考えています。佐々並各地区の代表者にも参加を依頼しております。

ご案内の通りに、地区みんなで移住促進に向けて協力体制をつくる「佐々並地区定住促進協議会」を開催いたします。ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

（文責 佐々並小学校長 船木 美弘）

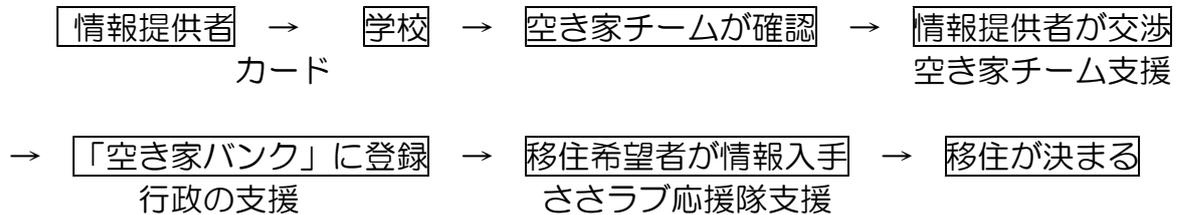
連絡先 佐々並小学校 0838-56-0009

第1回佐々並地区移住促進連絡会（案）

ささラブ応援隊

- 1 目的
 - ・ 地区みんなで移住促進に向けて協力体制をつくる。
 - ・ 空き家を調査して「空き家バンク」の登録につなげる。
 - ・ 移住者のケアを心情的、物理的に行う。
- 2 日時 令和4年5月22日（日） 9時から
- 3 場所 佐々並小学校 体育館
- 4 構成員 別紙メンバー候補一覧を参照
- 5 協議
 - ①はじめの会 会長あいさつ
 - ②自己紹介
 - ③佐々並地区の現状と課題・概要説明
 - ④空き家の状況確認 把握している空き家の現状・対応確認
 - ⑤これからの対応計画 「空き家情報カード」

・対応の流れ



⑥終わりの会 副会長あいさつ

- 6 今後の計画案 次回 月 日（ ） 時から ※当日協議
次回まで
 - ・ 各地区の空き家の情報収集と確認
 - ・ 空き家バンク登録の斡旋
 - ・ 知恵やアイデアの収集
- 7 確認事項案
 - ・ 各地区の空き家の状況をゼンリン地図を使って確認
 - ・ 今後の情報集約や提供の仕方（案）
→佐々並小学校に「空き家情報カード」で知らせる。
※持参またはFAX
- 8 出欠の連絡
 - ・ お手数をおかけいたしますが、欠席の場合のみ、学校まで電話でお知らせください。